

第28回かがわ型グリーン・ツーリズム体験モデル企画 「三木町小蓑で農村の田舎暮らし体験」が開催されました。

かがわグリーン・ツーリズム推進協議会の主催により、標記モデル企画が令和2年11月28・29日(土・日)に、三木町小蓑の「山南営農組合」で開催され、17名の方に参加いただきました。



午前には、薪割・かまど体験と打ち込みうどんづくりを体験しました。

薪割は薪割機と斧を使っての体験で、初めてという参加者も多く、薪が割れると歓声や拍手が起こりました。かまど体験では、米を洗い、釜の中に手を入れて水加減を調整し、薪のくべ方を教えてもらい、火をつけ、竹筒で空気を送り、米の炊ける音を聞きました。炊きあがった後、おにぎりを作りました。打ち込みうどん作りでは、うどんの生地を綿棒で伸ばし、切る作業を行いました。



昼食は、自分で作ったおにぎりや打ち込みうどん。出来立てを美味しくいただきました。

午後はまずは、しめ縄づくり。しめ縄名人から、藁の編み方を教わりながら作りました。藁が編めたら、丸く形を整えて、水引や飾りをつけてオリジナルのしめ縄が完成。参加者の皆さん満足そうでした。

その後、山道を15分程度歩いて体験農園へ向かいました。農園では、ホウレンソウと大根の収穫体験を楽しみました。



宿泊された参加者は、五右衛門風呂を薪で沸かして、お風呂に入りました。夕食は地元で採れたイノシシ肉のハンバーグや野菜がたっぷりの食事をいただきました。夕食後は、山村の静かな農家民宿でのんびり過ごしていただきました。

翌日は、朝食後、柿の収穫体験と小蓑古道の散策をしました。昔ながらの竹で作った道具で高いところにある柿を下からついて採ったり、イチヨウの絨毯の上を歩いたり楽しく過ごしました。

今回の体験が、今後の農業・農村の理解と新たな体験へのきっかけ作りになることを期待しています。